

第17回新潟リハビリテーション研究会

兼 日本リハビリテーション医学会関東地方会生涯教育研修会

日時：2014年10月4日（土）12:40～18:00

会場：新潟大学医学部有壬記念館 新潟市中央区旭町通1-757 TEL 025-227-2038・2039

プログラム

● 新潟リハビリテーション研究会役員会 (12:40～13:40)

会場 新潟大学医学部有壬記念館1階小会議室

1. 新潟リハビリテーション研究会会員総会 (13:45～13:55)

会場 新潟大学医学部有壬記念館2階大会議室

* 日本リハビリテーション医学会会員、新潟リハビリテーション研究会会員の皆様は全員ご参加下さい

2. 一般演題 (14:00～15:15)

《座長》 南魚沼市立ゆきぐに大和病院リハビリテーション科 大西 康史 先生

1) 「ポリオ後遺症に脳出血を合併し、3肢麻痺をきたした1例」

みどり病院リハビリテーション科 野本 規絵

2) 「TKA患者満足度に及ぼす「老いの受容」の影響」

猫山宮尾病院リハビリテーション科 本間 毅

3) 「脳卒中による嚥下障害に対しPTEG(経皮経食道胃管挿入術)を施行した1症例」

新潟大学医歯学総合病院総合リハビリテーションセンター 張替 徹

4) 「当院でのロボットスーツ活用状況」

新潟リハビリテーション病院リハビリテーション科 崎村 陽子

5) 「自動車運転適正評価におけるドライブシミュレーターの可能性」

新潟リハビリテーション病院リハビリテーション科 眞田 菜緒

3. 薬事案内 (15:20～15:40)

「メマリー0D錠の有効性と安全性について」第一三共株式会社

— 休 憩 (15:40～16:00) —

4. 教育研修講演

1) 「高次脳機能の評価を生活機能向上に結び付ける」(16:00～17:00)

《座長》 新潟リハビリテーション病院リハビリテーション科 崎村 陽子 先生

《講師》 札幌医科大学医学部リハビリテーション医学講座 教授 石合 純夫 先生

「高次脳機能」は、要素的な運動・感覚を越えて、いつ、どこ、何、どうする、あるいは、個体同士の相互作用などの側面に関与する広大な脳の機能である。このうち、どこがうまくできて、どこがうまくできないかを知るのが評価であり、診察、神経心理学的検査、画像診断等を駆使して、本質を追求しなければならない。評価結果は、生活機能と対応させ、患者と家族に説明し、さらに、生活機能向上へ結びつけることが大切である。

2) 「リハビリテーション栄養とサルコペニア」(17:00～18:00)

《座長》 亀田第一病院リハビリテーション科 村岡 幹夫 先生

《講師》 横浜市立大学附属市民総合医療センターリハビリテーション科 助教 若林 秀隆 先生

リハ栄養とは、栄養状態も含めてICF(国際生活機能分類)で評価を行ったうえで、障害者や高齢者の機能、活動、参加を最大限発揮できるような栄養管理を行うことである。広義のサルコペニアの原因には、加齢、活動・廃用、疾患(侵襲、悪液質、神経筋疾患)、栄養がある。サルコペニアの対応はその原因によって異なり、レジスタンストレーニングを含めたリハと栄養管理の使い分けや併用が重要となるため、リハ栄養の考え方が有用である。

○教育研修講演は日本リハビリテーション医学会専門医・認定臨床医生涯教育研修会(20単位一括2,000円)、日本整形外科学会専門医資格継続もしくはリハビリテーション医資格継続単位各1単位(1単位につき1,000円)に認定されています。

<日整会専門医資格継続分野番号>

・教育研修講演1): 8. 神経・筋疾患(末梢神経麻痺を含む), 13. リハビリテーション(理学療法、義肢装具を含む)

・教育研修講演2): 13. リハビリテーション(理学療法、義肢装具を含む), 14. 医療倫理・医療安全・医療制度等

○参加費 医師1,000円、コメディカル500円

○当日は職員駐車場を開放いたしますのでお車の方は西門からお入り下さい。

○新潟リハビリテーション研究会会員は平成26年度の会費納入(5,000円)も受け付けいたします。

○当日は、ご参加いただいた確認のため、御芳名の記帳をお願いいたします。

《共催》 新潟リハビリテーション研究会
第一三共株式会社